

会報

夏

No.174

2016.7

一般社団法人 北海道電業協会



目 次

札幌市都市局長着任にあたって	
札幌市都市局長 大 場 里 樹	1
(一社) 北海道電業協会第50回定時総会	
(一社) 日本電設工業協会北海道支部第60回定時総会	2
電業協会・電設協道支部合同懇親会	3
定時総会ご挨拶	
(一社) 北海道電業協会 会長	
(一社) 日本電設工業協会北海道支部 支部長 大 房 孝 宏	4
平成28年度北海道電業協会スローガン	5
(一社) 北海道電業協会役員	
(一社) 日本電設工業協会北海道支部役員	6
就任ご挨拶	
(株)ユアテック北海道支社 支社長 深 谷 耕 二	
新生テクノス(株)北海道支社 支社長 成 瀬 政 信	7
平成28年度 技術・安全衛生基礎教育講習会	8
平成28年度 1級電気工事施工管理技術検定(学科試験)受験講習会	9
現場からこんにちは	10
～シリーズ～「私のいちおし」	
日本電設工業(株)北海道支店 執行役員支店長 大 東 勝 広	11
～シリーズ～ 1/212だより	
空とみどりの交流拠点	
あつまるまち つながるまち ひろがるまち ～中標津町～	
中標津町長 小 林 実	12～13
太陽を味方につけたまち ～北竜町～	
北竜町長 佐 野 豊	14～15
顧問会	16
(一社) 北海道電業協会・(一社) 日本電設工業協会	
北海道支部の事務所移転のお知らせについて	17
公共施設用照明器具関連規格JIL5004(2016年版)改正説明会	18
厚生委員会行事報告 ゴルフ部会	19
業界だより、理事会、三役会・委員会報告	20～22
事務局日誌	23
編集後記	



都市局長着任にあたって

札幌市都市局長

大場 里 樹

このたび都市局長に着任いたしました大場でございます。

北海道電業協会の皆様には、平素より札幌市の様々な取組に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先日、熊本県を中心として発生した地震からもわかるように、大規模災害などにより、都市の生活基盤が脅かされるといった事態は、今後も起こりうることです。そのため、災害に強いまちづくりや環境負荷低減など、直面する多くの課題を克服するべく、これまで培ってきた技術を活かしつつ、市民の皆様の視点に立ち、共に考えながら、より住みよいまちづくりの実現を目指してまいります。

平成28年度の都市局の主な取組としては、札幌市まちづくり戦略ビジョンで目指す都市空間整備の基本目標のひとつである「都市基盤の維持・保全と防災力の強化」のために、第2次札幌市耐震改修促進計画を策定いたしました。この計画では、今年度からの木造住宅の耐震診断の無料化、ホテル等の施設の補助対象化等を盛り込んでおり、今後の更なる民間建築物の耐震化を促進してまいります。また、平成28年度に改定を行った、市独自の高断熱・高气密住宅基準である「札幌版次世代住宅基準」や、家庭における暖房エネルギーの削減を目的として既存住宅の高断熱化を支援

する「住宅エコリフォーム補助制度」について引き続き普及促進を図るとともに、札幌市も学校や市有建築物での太陽光などの新エネルギー技術の導入を行い、「低炭素社会」の推進に努めてまいります。

また、社会問題となっている不適正管理空き家対策についても引き続き取り組んでまいります。昨年度は札幌市空き家対策検討委員会の調査を踏まえ、市民アンケート、パブリックコメント等を行い、「札幌市空き家等対策計画」を策定いたしました。この計画の下、多岐に渡る空き家の問題について、関連する部局と連携しながら対処してまいります。

最後になりますが、今後とも皆様のご理解とご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。



○大会名称

第8回アジア冬季競技大会（2017／札幌）

〔大会略称：2017冬季アジア札幌大会〕

○開催期間

2017年（平成29年）2月19日(日)～26日(日)

一般
社団法人

北海道電業協会 日本電設工業協会北海道支部

第50回定時総会 第60回定時総会



平成28年5月11日(水)午後3時30分より札幌グランドホテルにおいて、一般社団法人北海道電業協会第50回・一般社団法人日本電設工業協会北海道支部第60回定時総会が開催され、会員代表者のほか営業責任者等が出席した。

最初に功績者表彰を行い、大房会長から表彰状と記念品が授与された。

○功績者

- ・三共電気工業(株)
代表取締役社長 萩本 哲夫 様
(現協会の役職～理事・広報委員長)



役員・功績者を囲んで

- ・西山坂田電気(株)
代表取締役会長 西山 陽一 様
(協会の役職～理事・上川電業協会会長)
- ・東光電気工事(株)
営業部営業課 担当課長 渡辺 広史 様
(協会の役職～経営委員会委員)

開会にあたり大房会長・支部長から電設工事業界の経営状況および協会運営についての挨拶（4ページ参照）があり「受注活動は追い風となっているものの、人手不足が深刻さを増し労務単価や資材価格の上昇、若者のモノづくり離れなど困難な問題や実態があるが、夢と生きがいのある電設工事業界を目指し今年度も諸事業に取り組んでいきたい」と呼びかけた。

引き続き議長として議事の運営に入り、最初に議事録署名人に遠藤 則夫氏（住友電設(株)北海道支店）と佐藤 義明氏（(株)でんこう）を指名し議案の審議を行った。

- 第1号議案 平成27年度会務・事業報告について
- 第2号議案 平成27年度収支決算承認および会計監査報告について

- 第3号議案 平成28年度事業計画報告について
- 第4号議案 平成28年度収支予算報告について
- 第5号議案 平成28年度スローガンの採択について

当協会運営および事業実施の基本として、諸課題の克服と将来の業界の地位向上を掲げ、スローガンが提案された。

- 第6号議案 役員の補欠選任について

別紙（6ページ掲載）のとおり承認された。

以上をもって、北海道電業協会の定時総会を終了した。

引き続き、電設協北海道支部総会が開催され、支部代表者が出席した。

大房支部長が議長となり議事を運営し、議案の審議を行った。

- 第1号議案 平成27年度会務・事業報告について
- 第2号議案 平成27年度収支決算承認および会計監査報告について
- 第3号議案 平成28年度事業計画報告について
- 第4号議案 平成28年度収支予算報告について
- 第5号議案 役員の補欠選任について

電業協会役員と一体化のため、別紙（6ページ掲載）のとおり承認された。

以上をもって、電設協北海道支部の定時総会を終了した。

合 同 懇 親 会



岩崎設備技術対策官



上野企画調整官



長浜建築局長



佐藤設備担当部長

両定時総会に引き続き、同ホテルのグランドホール（西側）において合同の懇親会が行われた。

大房会長・支部長の開会挨拶に続いて、ご来賓のご祝辞を北海道開発局営繕部営繕整備課設備技術対策官 岩崎 明平様、北海道産業保安監督部企画調整官 上野 英治様、北海道建設部建築局長 長浜 光弘様よりそれぞれご祝辞をいただいた。

続いて、札幌市都市局設備担当部長の佐藤 之則様のご発声による乾杯で開宴となった。

また、ご来賓として、北海道経済産業局、(一社)

北海道建築士会、(一社) 北海道設備設計事務所協会、(一社) 北海道空調衛生工事業協会、札幌弱電設備業協同組合、北海道電気資材卸業協同組合、(一社) 日本電気協会北海道支部、北海道電気工事業工業組合、札幌電気工事業協同組合、(一社) 札幌電設業協会など、官庁、業界団体の多数の方々のご出席をいただき、会員の皆様と終始和やかな懇親が行われ、高木 晃 (一社) 北海道設備設計事務所協会副会長の中締めでお開きとなった。



平成28年度(一社)北海道電業協会第50回定時総会並びに (一社)日本電設工業協会北海道支部第60回定時総会

(一社)北海道電業協会 会長

(一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長

大 房 孝 宏

(一社)北海道電業協会第50回定時総会並びに
(一社)日本電設工業協会北海道支部第60回定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、時節柄ご多忙の中、本日の総会にご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。また日頃から当協会の事業活動に対し、ご理解とご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

特に、昨年の(一社)日本電設工業協会会員大会の開催に際しては、協会役員と会員の皆様方が一丸となって準備・運営にあたっていただき、また大変多くの皆様に参加いただいたことで、盛会裏に終了させることができました。この場をお借りし、感謝申し上げます。

さて、この度熊本地方を襲った大地震は、熊本から大分にかけての広い範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。この震災により、自動車産業等の製造業は大きな打撃を受け、また、余震が続いていることでライフラインの復旧が遅れ、多くの方が避難生活を余儀なくされていることから、被災地域の住民生活や経済はもとより、国内全体の経済・社会に与える影響は極めて深刻なものとなっております。

こうした状況の中、私ども電設工事業界には、社会生活や経済・産業活動に不可欠な電気設備の構築と維持により、高品質で安定した電力供給に貢献する重要な役割と責任があります。今後ともこうした役割と責任を持続的に果たしていくためにも、会員が相互の信頼と連携の下で一丸となり、併せて関係団体、関係機関の皆様との連携をさらに進めながら、一步一步着実に諸課題の解決に取り組んでまいりたいと考えております

当協会は、平成25年4月に一般社団法人に移行してから今年で4年目を迎え、この間、役員一同、会員の皆様方のご協力をいただきながら「夢と生きがいのある電設工事業界」を目指して諸事業に取り組んでまいりました。昨年度の取り組み状況については1号議案、2号議案でお諮りいたしますので、ご承認をいただきたいと存じます。また、会員の負担軽減を図るための会費減額措置については、将来の協会の健全な発展に向けて平成25年度から少しずつ元に戻しており、これを踏まえて平成28年度の収支予算を策定しております。後ほど4号議案でお諮りいたします。

5号議案では、28年度のスローガンとして会場前方に掲げてあります。国内の景気が平成25年頃から緩やかな回復基調に転じ、受注活動は追い風となりましたが、一方では、人手不足が深刻さを増し、労務単価や資材価格の上昇、若者のモノづくり離れなど、現実にはいろいろと困難な問題や実態はありますが、健全で持続的な発展を目指していこうという業界の強い意志を表した4項目を採択いただきたいと存じます。

また、役員については、今年度は改選期ではありませんが、会員企業の人事異動等により、3名の役員の補欠選任がございますので、6号議案でお諮りいたします。そのほか、今年6月28日(予定)に、協会事務所を現在の「パークイースト札幌ビル」から「北電興業ビル」に移転いたします。

(一社)日本電設工業協会北海道支部の総会については、特別なことはございませんが、本日は二つの総会を併せて開催いたしますので、効率的な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年度 北海道電業協会スローガン

1. 優秀な人材の確保と技術・技能の継承を促進し、魅力ある職場作りで将来の電設業界の担い手を育てよう

建設産業は、長年の建設投資の減少に伴い受注競争が激化する中で、就労環境が悪化し、他産業を上回る就業者の高齢化と若年入職者の減少等により人材不足が顕在化している。

労働集約型産業である電設工事業界が今後とも健全に発展していくためには、将来を担う優秀な人材の継続的な確保と技術・技能の的確な継承が必要不可欠である。

電設業界の魅力（やりがい・達成感・充実感）を積極的に情報発信するとともに、時間外労働や休日出勤等の労働環境の改善に努め、電設業界全体として優秀な人材を確保することを目指す。

2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう

電気設備工事は建築工程に大きく左右され、工程の遅れが工期終盤に大きな負担となるとともに、品質管理・安全面への影響が問題となっている。

より品質の高い電気設備を提供するため、「適正な価格での受注を確保」するとともに、適正な受電時期の確保に向けた取組を継続し、健全で公正な競争市場の構築に努め「適正工期の確保」を目指す。

3. 品質と価格の透明性を確保するとともに、顧客に高品質の工事を提供するため、分離発注を強力に推進しよう

顧客との直接対話を通じて、電気設備工事の品質確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、更には品質とコストの関係が透明かつ明確で顧客に対し満足度の高いサービスを提供することが可能な「分離発注」こそ、顧客の投資した資金を有効に活かすことが出来る最も合理的な発注方式であり、分離発注の浸透に向けた提案力の強化を推進する。

4. 省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献しよう

電力の安定供給は国民生活の最も重要な基盤である。経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界として、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取組むとともに、電力システム改革の方向性を見据えた電設業界の新しいビジネスモデルのあり方を検討する。

一般社団法人 北海道電業協会 役員

(平成28年5月11日現在)

会 長	大 房 孝 宏	北 海 電 気 工 事 (株)	総務・広報各委員会担当 経営・厚生各委員会担当 技術安全委員会担当 総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長
副 会 長	中 野 章	(株) 北 弘 電 社	
〃	山 口 勉	(株) 山 口 電 気 機 械 工 務 所	
〃	太刀川 雅 弘	(株) 関 電 工	
専務理事	宇 野 徹	(一社) 北 海 道 電 業 協 会	
理 事	橋 本 耕 二	橋 本 電 気 工 事 (株)	
〃	鈴木 暁 彦	拓 北 電 業 (株)	
〃	萩 本 哲 夫	三 共 電 気 工 業 (株)	
〃	佐 藤 友 昭	(株) き ん で ん	
〃	嶋 津 博	島 津 電 設 (株)	
〃	大 東 勝 広	日 本 電 設 工 業 (株)	
〃	小笠原 憲 生	(株) ド ウ デ ン	
〃	佐 藤 繁 男	協 信 電 気 工 業 (株)	
〃	成 瀬 薫	東 光 電 気 工 事 (株)	
〃	西 山 陽 一	上 川 電 業 協 会	
監 事	伏 木 淳 二	北 電 力 設 備 工 事 (株)	
〃	松 澤 祥 二	浅 海 電 気 (株)	
〃	伊 東 新 一	税 理 士 法 人 松 永 会 計 札 幌 事 務 所	

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員 (平成28年5月11日現在)

支 部 長	大 房 孝 宏	北 海 電 気 工 事 (株)	(常 任 理 事)
副支部長	中 野 章	(株) 北 弘 電 社	(理 事)
〃	山 口 勉	(株) 山 口 電 気 機 械 工 務 所	(〃)
常 議 員	大 東 勝 広	日 本 電 設 工 業 (株)	(諮 問 委 員)
〃	小笠原 憲 生	(株) ド ウ デ ン	(〃)
〃	佐 藤 繁 男	協 信 電 気 工 業 (株)	(〃)
〃	佐 藤 友 昭	(株) き ん で ん	(〃)
〃	嶋 津 博	島 津 電 設 (株)	(〃)
〃	鈴木 暁 彦	拓 北 電 業 (株)	(諮 問 委 員)
〃	太刀川 雅 弘	(株) 関 電 工	(〃)
〃	成 瀬 薫	東 光 電 気 工 事 (株)	(〃)
〃	萩 本 哲 夫	三 共 電 気 工 業 (株)	(〃)
〃	橋 本 耕 二	橋 本 電 気 工 事 (株)	(〃)
〃	伏 木 淳 二	北 電 力 設 備 工 事 (株)	(〃)
〃	松 澤 祥 二	浅 海 電 気 (株)	(〃)
監 事	伊 東 新 一	税 理 士 法 人 松 永 会 計 札 幌 事 務 所	(〃)
〃	伏 木 淳 二	北 電 力 設 備 工 事 (株)	(〃)
〃	松 澤 祥 二	浅 海 電 気 (株)	(〃)

※太字～補欠選任された役員

就任ご挨拶



(株)ユアテック北海道支社
支社長

深 谷 耕 二

初夏の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、3月1日付で前支社長阿部広実の後任として北海道支社長に就任致しました深谷耕二でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は昭和19年10月に東北電気工事株式会社として創業致し、以来総合設備業として経営の多角化と技術・工法の向上などに不断の努力を重ねてまいりました。平成3年4月には刻々と変化する社会環境を先取りし、総合設備業から一歩進め、総合設備エンジニアリング企業としてさらなる発

展をめざして、社名を「株式会社ユアテック」と改めました。札幌市には昭和46年12月に事業所を開設し現在に至っております。

私事ですが、平成10年から9年間の北海道勤務の後、6年間の単身赴任を経て3年前から再び北海道に勤務しております。人生において北海道生活が一番長くなり、すっかり道産子のつもりであります。

昨今、建設業界を取り巻く環境は新規就労者不足などの課題があるものの、北海道新幹線の開業や外国人観光客の増加など明るい話題も多く、北海道が着実に発展していくものと期待しております。

また、北海道と東北地方との広域交流が活発化するなかで、安全で高品質の施工を通じて地域の発展に貢献してまいりたいと考えております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



新生テクノス(株)北海道支社
支社長

成 瀬 政 信

向暑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、4月1日付で、前支社長 白井英典の後任として北海道支社長に就任いたしました成瀬政信でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり心より厚くお礼申し上げます。

経験不足ではありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら協会の発展と業界の繁栄に微力ながら最前を尽くす所存でございますので、どうぞ宜しくお願いします。

当社はもうじき創立70周年を迎えようとしています。

昭和22年に新生電業として創業し、鉄道電気工事を基盤として経営していましたが、その後総合

電気設備工事会社として、建築電気設備、鉄道電気設備、情報通信設備等に携わり営業展開しております。また平成8年に新生電業とジェイアール東海電気工事が合併し新生テクノスと社名変更し現在に至っております。

私事ではありますが、北海道旭川市近郊で生まれ育ち東京で入社、その2年後札幌勤務となり札幌、旭川と30年間北海道内で勤務してきました。その後東京での10年の単身赴任生活を終え4月に札幌に戻ってまいりました。電気業界の経験も浅く皆様方とお会いしても顔と名前が一致せず失礼することもあるかと思いますが、何卒ご容赦のほどよろしくお願い致します。

道内はまだまだ厳しい経済環境下ではありますが、北海道新幹線開業と明るい兆しも見えている今日であります。活気ある北海道となるよう当協会と協会会員の皆様との活動を通じて努力する所存でございます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご清栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

平成28年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



この講習会は、新人や入社数年の若手社員への教育を目的として平成4年度から毎年実施されており、今回は14社から30名が受講した。(一社)日本電設工業協会が編さんした新人教育用テキスト等を用い4月5日(火)～8日(金)の4日間、北海道電気会館大ホール会議室において電気設備技術者の基礎となる講習会を実施した。

技術安全委員会の太刀川 雅弘委員長は開講挨拶で「研修は工事が携わる人全員が習得しなくてはならない基本的知識の講習」であると講習会開催の目的を示しさらに「建築物が高度化、複雑化する中、絶えず自己研鑽し、当たり前のごとくに真摯に取り組むことがお客さまの信頼に繋がる」と技術者としての姿勢を説いた。

講習会では、当協会の7人の技術安全委員が講師となり、電気設備技術者としての役割や設計・積算の基本、電気工事の施工など技術と安全に関する知識を教えた。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け電気設備概論や安全衛生教育の必要性などを学んだ。



開講挨拶 太刀川技術安全委員長

【講習内容と講師紹介】

主な講習項目	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) 内線第二課長 佐々木 勇氏	
電気と安全、 労働災害防止	北海電気工事(株) 安全品質部 課長 半崎 郁哉氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	北海電気工事(株) 電設工事部 部長代理 中村 淳一氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 技術課長 村上 雅春氏	
配線工事の基本 幹線設備等	末廣屋電機(株) 工事部長 太田 英男氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 担当部長 内山 優氏	
防災設備 雷保護システム等	協信電気工業(株) 取締役工務部長 小川 恒明氏	

平成28年度 1級電気工事施工管理技術検定（学科試験）受験講習会



平成28年4月25日(月)～26日(火)の2日間、セントラル札幌北ビル6階大ホールにおいて、(一社)日本電設工業協会北海道支部と(一財)地域開発研究所との共催で、1級電気工事施工管理技術検定(学科試験)受験準備講習会を実施した。講習会のオリエンテーションでは1級電気工事施工管理技士とは「建設業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者、主任技術者となる資格要件」であり、本検定試験の資格取得は、本人は勿論のこと企業にとっても極めて重要な資格となることを説明した。

講師は、それぞれの分野で活躍されている経験

豊富なベテランぞろいで、出題科目の範囲や出題傾向など適切なアドバイスを行った。

今年の受講者は75名で、6月12日(日)の試験本番に向けて真剣に耳を傾けていた。学科試験の合格発表は7月22日(金)で、合格者は10月16日(日)の実地試験に臨み、来年2月3日(金)の合格発表で晴れて1級電気工事施工管理技士の取得となる。

参考として、平成27年度の全国の1級(学科)における受験者数は18,122人で合格率は全国平均45.1%(前年35.6%)で受験生にとっては厳しい狭き門となっている。

【講習プログラム・講師一覧】

	日	程	教 科 目	講 師 名
第1日目	4/25 (月)	午前 9:25 ～12:25	電 気 工 学	北海道大学大学院情報科学研究科 システム情報科学専攻 助教 田中 英一氏
		午後 13:15 ～18:15	施設電気設備 施 工 管 理	大成建設(株)札幌支店建築部積算室 課長 青戸 洋司氏
第2日目	4/26 (火)	午前 9:00 ～12:20	法 規	(一財)地域開発研究所 専任講師 丹治 秀男氏
		午後 13:10 ～18:00	構内電気設備	大成建設(株)札幌支店建築部 設備課長 北川 裕章氏

現場からこんにちは



工事名称：月寒東小学校改築強電設備工事
工事場所：札幌市豊平区月寒東3条10丁目149番4他
工期：平成27年6月22日～平成28年7月29日
工事規模：校舎棟（鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積7,189.82㎡）物置棟・飼育小屋棟（鉄筋コンクリート造平屋 延べ床面積50.4㎡）渡り廊下（鉄骨造平屋 延べ床面積32.02㎡）
工事概要：受変電、幹線、動力、電灯、暖房、屋外照明、太陽光発電30kW、エネルギー監視

発注者：札幌市

請負者：北電力設備工事株式会社

月寒東小学校は昭和41年に児童増加に伴い開校しました。校舎棟は昭和40年に鉄筋コンクリート造3階建で建設、その後4回の増築が行われ、屋内運動場は平成9年に改築、プール棟は平成10年に新築されました。校舎棟の大半は築45年が経過し、老朽化と耐震強度不足のため改築することとなりました。

今回、月寒東小学校改築強電設備工事の現場に伺い、北電力設備工事(株)の監理技術者の河野 正義さん、現場代理人の中島 諭さん、現場技術者の遠藤 将太さんに取材させて頂きました。

この校舎棟新築工事は、同一敷地内のグラウンドに仮設校舎を建てて既設校舎を解体後、新校舎棟を建設する工事です。

現場取材は4月末に行い、進捗状況は40%程度。最近では、キュービクル・屋上に太陽光パネルの搬入が終了しました。5月末受電に向け、受変電設備は引込ケーブル用の建柱・地中埋設配管配線作業、幹線設備は盤設置結線作業、電灯設備はボード開口・器具取付配管配線作業、太陽光発電設備は太陽光パネルを設置・結線作業を行います。

6月中旬から試運転調整に入り7月初旬の部分引渡しに向けて急ピッチで作業を進めていきます。

現場で苦勞された点は、1階天井裏にケーブルラック2段で敷設予定を階高の関係で1段に変更したことです。ケーブルラックの幅や高さの変更になり、他の設備との取りあいで納めるのに非常に苦勞しました。また打合せの方では、給食室の各機器との連動や運転・停止条件、各センサー連動など分電盤の回路構成に苦勞しました。

安全については、通学の登下校の時間帯を避けての搬入調整を行うなど第三者災害の防止に気を遣ったことです。

最後に竣工まで残り約2カ月間は作業がますます忙しくなりますが、無事故・無災害で施設が完成することを祈願し、2学期から新校舎で学ぶことを楽しみにしている子供達の光景が待ち遠しく思う所存です。大変お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。

取材 広報委員 富樫 亮太、佐藤 貞治



北電力設備工事(株)

監理技術者：河野さん（左）現場代理人：中島さん（中）

現場技術者：遠藤さん（右）

～シリーズ～ 「私のいちおし」

日本電設工業(株)北海道支店
執行役員支店長 大東 勝 広



今回は、洋食居酒屋「Wood back」さんを紹介いたします。場所は会社から歩いて2分程度で、地下鉄北18条駅から1分の場所にあります。木肌の外壁に緑色の店構えも独特ですが、店の外も山小屋風の店内も、すべて店主の手作りです。至る所に可愛らしい工夫があるのは、奥様の趣味だそうです。



一押しのパizza

この店は、東京のホテルで料理の修行後、開業して23年となるオーナーシェフの野原 貴康さんと奥様のゆき子さん夫婦2人で営んでいます。

昼は洋食ランチ、夜は洋風居酒屋として長年親しまれており、隠れ家的なお店で地域に親しまれております。

お店で使われている新鮮な野菜は、上富良野出身の主人が地元の自家菜園で無農薬栽培しているものです。「少しでも手頃な値段でお客様に料理を出したい」と願い育てているそうです。

テーブル席が3卓とカウンター席が8席程度と小さなお店ですが、学生街でありながら飲み放題

がないのでとにかく静かです。アットホームな対応が素敵で、OLやカップルも多く来店しています。

私は、週一ペースで洋食ランチに来ておりますが、じっくり煮込んだデミソースとラムの料理が秀逸です。ただ、なんと言っても、月一回程度は息抜きで会社帰りにきている、夜の飲み会が最高です。とにかく安いです。世界のビールと店主のお勧めのワインを飲み、店主自慢の料理を食べていると、ついつい長居をしてしまい、話が長くて皆には嫌われているようで、残念なことに、次の日の朝も体調が優れないことが多いのも気のせいでしょうか。



かみふらのポーク

専用の駐車場はありませんが、地下鉄駅そばですので気軽に立ち寄り、美味しいワインを飲みに来てはどうでしょうか。



私と野原さんご夫婦

店 名	洋食居酒屋 Wood back (ウッド バック)
住 所	札幌市北区北17条西3丁目 第五富士ビル1階
電 話	011-707-7661
営業時間	ランチ 11:00~15:00 居酒屋 17:00~24:00
定休日	第1・第3日曜日



空とみどりの交流拠点 あつまるまち つながるまち ひろがるまち ～中標津町～

中標津町長 小林 実



■まちの概要

羽田空港から飛行機で100分。東経145度のまち中標津は東北海道の空の玄関口です。

中標津町は、基幹産業である酪農業をはじめ、根室管内の中心という立地条件から大型店や中小の店舗が立ち並ぶ商業集積を誇る「産業のまち」です。人口24,000人の小さな町ですが、周辺の消費都市としての顔もあり週末は買い物客が多く訪れます。

■世界自然遺産知床への玄関口「中標津空港」



中標津町は知床の空の玄関口「中標津空港」を擁し、東京と札幌へ直行便で結んでいます。

また、空港を拠点として、知床、阿寒、釧路湿

原国立公園や、納沙布岬、野付半島など多数の観光地を巡ることもでき、夏にはキャンプ、秋はサーモンフィッシング、冬は流氷観光など季節に応じた道東の旅が堪能できます。

空港からは、牧場を割って延びる長い直線道路「ミルクロード」を通り抜け、道東の景勝地の一つとして人気がある「開陽台」にお立ち寄りください。

■ミルクロード

地図上はあくまでまっすぐなミルクロードですが、実際は縦のワインディングロード。この起伏が、単なる直線道路にはない魅力をライダー、ドライバーに与えてくれます。

どこまでも続く直線道路は、広大な牧草地を突き抜けて、基盤の目のように縦横に走り、風の匂いと鮮やかな色彩は、1本の動線を駆け抜けた記憶とともにいつまでも鮮明に残ります。



どこかの映画で見たような一直線の道は、霧の摩周湖、世界自然遺産の知床などへ快適なドライブを約束します。

■開陽台



標高270mの台地から望む330度の眺望は圧巻。眼下に広がる緑のじゅうたんが果てしなく続き、草原の地平線が文字どおり丸く見え、地球が丸いことを実感できます。夜は大粒の星が降り注ぎ、地球も銀河星の一員であることを感じとれる宇宙の大パノラマが広がります。

■なかしべつ夏祭り

煌く提灯。その数、6,000個。短い夏の終わりを告げる頃、まちは最高潮に盛り上がります。

夏の夜空を染める2千発の花火、浴衣姿でまちを練り歩くパレード、思い思いの衣装を身にまとい踊り続ける仮装盆踊り。

この時を楽しみにしていた者、里帰りする者、旅の足を休める者、様々な者達が、ふるさと中標津を語り明かす3日間。

祭りの終わりとともに、風の流れが変わり、秋の匂いが何処からとも無くやってきます。



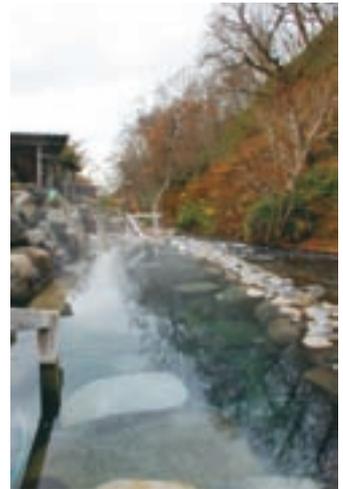
■養老牛温泉～素敵な時間の過ごし方～

町の中心から車で約30分の距離にある静かな佇まいで豊富な湯量の養老牛（ようろうし）温泉。自然林に囲まれた露天風呂のそばを川が流れ、森の動物たちが顔を出し、時には森の守り神シマフクロウがやってきます。

深緑を間近に見ながらさらりとした湯にゆっく

りと浸かり、至福の時間が過ぎます。耳を澄ませば、時折聞こえる野鳥の声。夕暮れと共に見上げると満点の星空が時を忘れさせます。大自然の流れを感じながらの贅沢な1日。

素敵な時間の過ごし方かもしれません。



■北海道遺産～根釧台地の格子状防風林

上空から見なければとても「絵」には見えないナスカの地上絵（南米ペルー）、人工衛星からも鮮明に見えることで知られるが、それに匹敵する地上絵がこの「根釧台地の格子状防風林」。

2000年スペースシャトルエンデバーに搭乗した毛利衛さんがビデオカメラで捉えた映像には、格子状防風林がくっきりと映し出され、あらためてその全容の巨大さを知ることができました。

かつて北海道に暮らす我々は森の木を切り、その恩恵で産業を発展させてきました。しかし、地域の森は消滅し人々は冬の自然の猛威により、幼い子供たちを失うなど悲しい経験をしてきました。この町の人々は防風林という名のもうひとつの森を育て続けてきました。100間＝180m幅の格子状防風林。

この町を守りつづけてきた森を、次の世代の子供たちにどのように手渡せるか・・・

今、私たちの知恵が試されようとしています。



中標津町



観光協会



太陽を味方につけたまち ～北竜町～

北竜町長 佐野 豊



【まちの概要】

北海道のやや中央にあり、空知管内の北部に位置する北竜町は、暑寒連峰の裾野に広がる豊かな自然と風土に恵まれた町です。

明治26年、千葉県製の団入植に源を発し、明治32年戸長役場が置かれ、昭和36年町制を施行し、現在に至っています。

主産業は農業で、平成2年に「国民の命と健康を守る安全な食糧生産の町」を宣言し、暑寒別岳から流れる清らかな水と輝く太陽の光をたっぷり吸収し農薬を削減して育てる「ひまわりライス」を始め、ひまわりメロン、ひまわりスイカ、黒千石大豆などが作付けされ、近年はふるさと納税でも好評をいただいています。

《 北竜町HP 》

<http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp>

■ひまわりの里



23.1ha（札幌ドーム4.5個分）の広大な土地一面に、150万本のひまわりが咲き誇り、毎年20万

人以上の観光客の方にお越し頂く、北竜町を代表する観光スポットです。1カ所に作付けしている面積として日本一の広さで毎年多くの観光客で賑わいます。

シーズン期間中の7月中旬から8月下旬までは、ひまわりまつりを開催しています。30種類もの世界のひまわりを見て頂くことのできる世界のひまわりコーナー、巨大なひまわり迷路、飲食や買い物を楽しむことのできる観光センターなども併設されています。レンタサイクルや遊覧車で敷地内を巡ることもできます。今年は節目の「第30回ひまわりまつり」が開催され、期間中は様々なイベントを催しますので、ぜひお立ち寄りください。

また、隣接した「ひまわりパークゴルフ場」では、初心者からベテランの方まで楽しめるコースがあり、シーズン期間中はひまわりの畑の中でプレーをしているような感覚が楽しめます。

■サンフラワーパーク北竜温泉



札幌市から約100kmの国道275号線沿いにあり、2頭の竜が向き合う北竜門が目印の道の駅を兼ねた温泉施設です。露天風呂や泡風呂、ひまわりの花や茎を利用した「ひまわり湯」がオススメです。北竜町の特産品であるひまわりライスや黒千石大豆を使った北竜町ならではのお食事も楽しめます。また敷地内には「農畜産物直売所みのりっち北竜」があり、地元野菜を始め、特産品や加工品をお買い求め頂くこともできます。

○問い合わせ先：サンフラワーパーク北竜温泉
電話：0164-34-3321

○住所：北海道雨竜郡北竜町字板谷163-2

■ひまわりライス

北海道農業使用基準より5割削減して育てた農業節減米で、生産情報公表農産物（JAS）を取得しHP上で生産者情報を公表している「生産者の顔が見える安全・安心なお米」です。



■黒千石大豆



40年ぶりに復活した極小粒大豆で、イソフラボン、アントシアニン、ポリフェノールが豊富。近年は健康食品として大注目の農産物です。お茶やきなこなどの加工品も人気です。

■ひまわり咲ちゃん

アグリファイター・ノースドラゴン



ひまわり咲ちゃん

平成3年に町の花でもあるひまわりをモチーフにしたひまわり咲ちゃんが、平成25年に「食の平和を俺たちが守る！」をテーマに、アグリファイター・ノースドラゴンが誕生しました。町内のイベントは勿論、全国各地のイベント

にも参加して、食の安全とひまわりライス、北竜町のPRをしてくれています。



アグリファイター・ノースドラゴン

顧問会

平成28年5月9日(月)午後5時から、ほくでん北二条クラブにおいて、今年度の顧問会を開催した。当日は吉川顧問、当協会からは、大房会長、中野副会長、山口副会長、小川専務理事、類家事務局長、宇野事務局長代理が出席した。

最初に大房会長から挨拶があり、常日頃からの当協会運営に対するご理解・ご支援に謝辞を述べた後、当協会の現状について説明した。

引続き、事務局から5月11日(水)開催予定の定時総会の議案書に基づき、平成27年度事業報告、役員補欠選任(案)などについて報告した。

吉川顧問からは、今後の協会運営に対して貴重なご意見やご提言をいただき、今後の活動の一助とすることにした。このあと、懇談会に入り、いっものながらの時事放談や健康談義に花が咲き、和やかなうちにお開きとなった。



「(一社)北海道電業協会 ・ (一社)日本電設工業協会北海道支部」 の事務所移転のお知らせについて

平素は当協会の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。
さて事務所経費などの削減のために下記のとおり移転いたしました！
なお、電話番号、ファックス番号、Eメールアドレスについては変更ありません。
今後ともよろしく願いいたします。

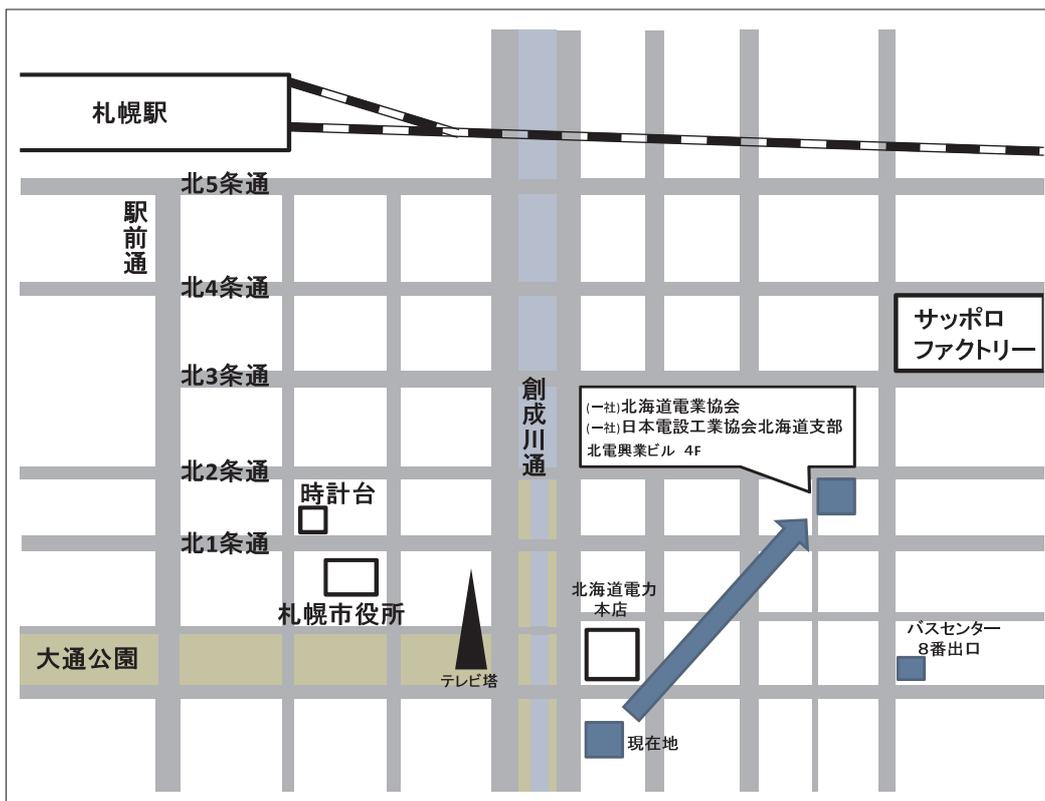
【移転後の住所（平成28年6月28日付）】

〒060-0031

札幌市中央区北1条東3丁目1-1 北電興業ビル4階

- 電話番号（変更なし） 011-271-2932
- FAX番号（変更なし） 011-271-2952
- アドレス（変更なし） dodenkyo@estate.ocn.ne.jp

案内図 ●地下鉄東西線 バスセンター前駅8番出口 徒歩8分



公共施設用照明器具関連規格JIL5004（2016年版）改正説明会

主催：一般社団法人 日本照明工業会

協賛：一般社団法人 日本電設工業協会 北海道支部

平成28年5月24日(火)午後1時30分から北海道電気会館6階大ホールにて、公共施設用照明器具関連規格「JIL5004」の改正内容について説明会が開催され57名が出席した。

当日は（一社）日本照明工業会の山田 憲幸氏（認証部長兼企画部担当部長）、田中 吉郎氏（認証部担当部長）、日立アプライアンス(株)の黒澤 祐介氏（第四設計部施設照明グループ技師）の3名の講師からそれぞれ改正概要のポイントについてわかりやすく説明が行われた。



(説明会資料抜粋)

1. 改正概要

JIL5004-2015（2016版）について

- 公共建築物で使用する照明器具について日本照明工業会に「公共施設用照明器具標準委員会」(小野隆委員長)を設置。(参考：日本大学教授、(一社)照明学会 監事)
- 今回の改正では、従来光源である白熱電球、蛍光灯、高輝度放電ランプ（HID）を用いた照明器具の多くをLED照明器具へ移行。
- 日本照明工業会 照明器具小委員会にて改正案を立案し、上記標準委員会の承認を得て2015年12月15日に刊行。
- 総掲載機種数は257となりLED照明器具が大部分を占める。
- 掲載量の増加、検索性の向上等のため、製本をA5版からA4版に変更。

2. JIL5004-2015（2016年度版）のポイント

1) LEDの普及・促進

- 白熱灯器具、蛍光灯器具、HID器具からLED器具へ移行
- LED化されている機種について、業界水準を鑑みて省電力化(効率アップ)、保守率の見直し

2) LED化による光学特性の規定化

- ベースライト器具の発光部輝度分布の均一化
- ダウンライトの光束維持率、光束の見直し
- 高天井器具の輝度値規制形の追加

3) 本規格の活用促進

- LED器具の固有照明率の掲載を拡大

4) 改修専用機種一覧を参考資料として掲載

- 従来光源機種で採用頻度が高いものを参考資料として掲載

厚生委員会行事報告



第2回大会 スタート前

第1回ゴルフ会 平成28年5月27日(金) 札幌南ゴルフクラブ 参加者30名

順位	氏名	会社名	IN	OUT	GROSS	HC	NET
優勝	住本 邦裕	道タツヲ電気	38	41	79	7	72
準優勝	桜庭 謙次	北電力設備	42	40	82	10	72
3位	松井 良一	札幌日信電子	44	48	92	20	72
4位	須貝 勝壽	亜細亜電気	40	43	83	10	73
5位	赤松 博昭	北陽電材	43	43	86	13	73
6位	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ	46	45	91	18	73
7位	佐久間忠信	北明電気	42	39	81	7	74
8位	暁 友祐	北札幌電設	48	44	92	18	74
9位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	44	54	98	22	76
10位	滝澤 秀樹	滝沢電気	56	50	106	30	76

(特別賞)

B	G	住本 邦裕	道タツヲ電気
平	賞	赤松 博昭	北陽電材
大	賞	小林 勇治	三共電気
小	賞	三好 裕一	札幌機電
B	賞	川喜田 邦夫	能美防災
ラ	賞	石田 啓二	山口電気
ッ	賞	桜庭 謙次	北電力設備
キ	賞	桜庭 謙次	北電力設備
ー	賞	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ
N	P	桜間 仁敏	古川電気
N	P	矢田 彰	北弘電社
N	P	浦本 泰男	振興電気
N	P	滝沢 英美	サンテック



第1回大会優勝者 住本さん(左)山口副会長(右)

第2回ゴルフ会 平成28年6月9日(木) 真駒内カントリークラブ 参加者30名

順位	氏名	会社名	IN	OUT	GROSS	HC	NET
優勝	室野 正至	富士電機	38	42	80	16	64
準優勝	稲津 亘	北盛電設	47	44	91	16	75
3位	橋本 佳明	橋本電気	51	48	99	23	76
4位	住本 邦裕	道タツヲ電気	41	41	82	5	77
5位	中鉢 征	三共電気	51	51	102	25	77
6位	佐藤 尚侍	浅海電気	53	45	98	20	78
7位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	49	51	100	22	78
8位	佐久間忠信	北明電気	43	43	86	7	79
9位	三好 裕一	札幌機電	45	49	94	15	79
10位	石田 啓二	山口電気	43	48	91	11	80

(特別賞)

B	G	室野 正至	富士電機
平	賞	中鉢 征	三共電気
大	賞	吉田 岳夫	北海電工
小	賞	桜庭 謙次	北電力設備
B	賞	庄田 修	データ電建
ラ	賞	渡辺 修	三新
ッ	賞	室野 正至	富士電機
キ	賞	室野 正至	富士電機
N	P	稲津 亘	北盛電設
N	P	橋本 佳明	橋本電気
N	P	住本 邦裕	道タツヲ電気
N	P	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ
N	P	吉田 岳夫	北海電工



第2回大会優勝者 室野さん(左)山口副会長(右)

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成28年6月1日付)		(平成28年4月1日付)	
○住友電設(株)北海道支店		○三機工業(株)北海道支店	
(新)支店長	中嶋 齊	(新)執行役員支店長	荻部 郁生
(旧)支店長	遠藤 則夫	(旧)執行役員支店長	石田 博一
(平成28年4月1日付)		(平成28年3月1日付)	
○新生テクノス(株)北海道支社		○(株)ユアテック北海道支社	
(新)支社長	成瀬 政信	(新)支社長	深谷 耕二
(旧)支社長	白井 英典	(旧)支社長	阿部 広美

【名称及び職務執行者の変更】

(平成28年7月1日付)	
(変更後)	
(株)データベース	
代表取締役	大森 康弘
(変更前)	
(株)データ電建	
代表取締役	森永 忠輔

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成28年4月27日(水) 11:30~13:30

第1回議題

【協議事項】

1. 会員代表者の変更に伴う後任役員候補者等の選任対応
2. 電設協道支部第60回定時総会付議事項について
3. 第50回・第60回定時総会の進行案について
4. 定款21条第5項の規定に基づく職務執行状況について

以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成28年度技術・安全衛生基礎教育講習会(新人研修)の開催結果
2. 電設協理事及び諮問委員並びに支部長候補者の推薦について
3. 電設協第66回定時総会の開催について
4. 電設協第6回諮問委員会の開催
5. 札電協第66期通常総代会懇親会のご案内
6. 日本電気協会北海道支部第69回支部大会のご案内
7. 北海道電気資材卸業協同組合第42回通常総会後の懇親会のご案内

8. 会員代表者の変更
9. 平成28年5・6月行事予定について
以上概要を報告（小川専務理事）

◇平成28年6月23日(木) 12:00~13:30

第2回議題

【協議事項】

1. 平成28年度役員会等主要行事日程について
2. 平成28年度常設委員会の体制について
3. 技術系学校の先生との懇談会の開催について
4. 技術系学校の生徒を対象とした現場見学会の開催について
5. 北海道の建築工事に係る合同研修会の開催について
6. 平成28年度札幌都市局との意見交換会の開催について
7. 電気・空衛連絡協議会及び幹事会の開催について
8. 以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 本部第267回政策委員会の概要報告
2. 平成28年度札幌市電気設備施工研修会の開催
3. 平成28年度安全大会の開催報告
4. 企業会員の代表者変更
5. 電業協会及び電設協北海道支部の事務所移転
6. 平成28年7・8月行事予定について
7. その他意見交換

以上概要を報告（宇野専務理事）

|| 三 役 会

◇平成28年4月12日(火) 12:00~13:30

第1回議題

1. 電業協会第50回定時総会付議事項について
2. 電設協道支部第60回定時総会付議事項について
3. 協会第50回・電設協第60回定時総会の進行(案)について
4. 会員代表者の変更に伴う後任役員候補者等の選任対応
5. 定款21条第5項の規定に基づく職務執行状況

報告

6. 平成28年度技術・安全衛生基礎教育講習会開催報告
7. 会員代表者の変更について
8. 平成28年4・5月行事予定について

◇平成28年5月9日(月) 15:30~16:30

第2回議題

1. 電業協会第50回及び電設協道支部第60回定時総会の進行等について
2. 定時総会及び合同懇親会式次第等について
3. 顧問会の開催について
4. 平成28年5・6月行事予定
5. その他意見交換

◇平成28年6月7日(火) 12:00~13:30

第3回議題

1. 平成28年度の役員会等の行事日程について
2. 平成28年度の常設委員会の体制について
3. 平成28年度安全大会の開催について
4. 平成28年度経営者懇談会の開催について
5. 協会事務所移転に係る会員及び関係機関・諸団体への周知(案)について
6. 会員代表者の変更について
7. 平成28年6・7月行事予定
8. その他意見交換会

|| 総務委員会

◇平成28年6月3日(金) 12:00~13:30

第1回議題

1. 総務委員会の体制(案)について
2. 平成28年度総務委員会事業実施計画(案)について
3. 平成28年度経営者懇談会の開催について
4. 協会事務所移転に係る会員及び関係機関・諸団体への周知(案)について
5. その他意見交換

経営委員会

◇平成28年6月1日(水) 12:00~13:00

第1回議題

1. 第5回議事録の承認について
2. 本部第266回政策委員会の概要報告について
3. 平成28年度経営委員会委員について
4. 平成28年度経営委員会事業計画(案)について
5. 札幌開発建設部との意見交換会について
6. 平成28年度経営者セミナーの開催について
7. その他意見交換

広報委員会

◇平成28年6月7日(火) 15:00~17:00

第1回議題

1. 平成28年度広報委員会委員について
2. 平成28年度事業実施計画について
3. 会報「秋号」の編集方針(案)について
4. 会報「夏号」の校正について
5. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成28年6月15日(水) 12:00~13:00

第1回議題

1. 平成28年度技術安全委員会委員について
2. 平成28年度技術安全委員会実施計画について
3. 実施報告
 - ①平成28年度技術・安全衛生基礎教育講習会
 - ②平成28年度電気工事施工管理技術検定(学科試験)受験講習会
4. 平成28年度安全大会の開催について
5. 平成28年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
6. 平成28年度登録電気工事基幹技能者認定講習会について
7. 電気設備工事現場見学会の開催日程・見学先について
 - ・技術系学校先生との懇談会

- ・技術系学校生徒との見学会
- ・当協会会員との見学会

8. 安全パトロールの開催について
9. その他意見交換

厚生委員会

◇平成28年6月21日(火) 12:00~13:30

第1回議題

1. 平成28年度部会幹事について
2. 平成28年度部会実施計画について
3. 平成28年度予算について
4. その他意見交換

事務局日誌

4月5日(火)・技術安全衛生基礎教育講習会
～8日(金)まで

12日(火)・第1回三役会議

15日(金)・監事監査

21日(木)・札幌電設業協会定時総会

(東京ドームホテル) 小川専務

22日(金)・本部第331回運営委員会

大房支部長

25日(月)・1級電気工事施工管理検定受験講習会
(北海道開発協会)

・本部理事会 大房支部長

27日(水)・第1回理事会・常議委員会

5月9日(月)・第2回三役会議

・顧問会 (北2条クラブ)

5月11日(水)・電業協会第50回・道支部第60回定時
総会 (札幌グランドホテル)

12日(木)・道資材卸業協組総会・懇親会

(ホテルガーデンパレス)

中野副会長

16日(月)・本部第66回定時総会・懇親会

(ホテルグランドパレス)

大房支部長他

19日(木)・本部第266回政策委員会

山口理事

・札幌電協第66期通常総代懇親会

(東京ドームホテル) 中野副会長

・建設労災防止協会役員会

(北海道建設会館) 宇野専務

20日(金)・札幌商工会第35期設備部会

(アートホテルズ札幌) 宇野専務

24日(火)・日本電気協会第69回支部大会

(札幌グランドホテル) 宇野専務

・公共施設用照明器具説明会

(北海道電気会館) 宇野専務他

27日(金)・第1回ゴルフコンペ(札幌南GC)

・第1回歌唱部会(ナイトバンク)

31日(火)・北海道電気安全委員会総会

北海道電気会館 (宇野専務)

6月1日(水)・第1回経営委員会

3日(金)・第1回総務委員会

6日(月)・社会保険未加入対策推進会議

(第一合同庁舎) 宇野専務

・本部第267回政策委員会

山口理事

7日(火)・第3回三役会議

・第1回広報委員会

・道工組総代会

(東京ドームホテル) 宇野専務

9日(木)・第2回ゴルフコンペ(真駒内)

・本部理事会・第332回運営委員会

大房支部長

・建設労災防止協会28年度通常総会

(札幌第一ホテル) 宇野専務他

15日(水)・第1回技術安全委員会

17日(金)・「防災設備の最近動向と設置基準」
講習会 (北海電工会議室)

20日(月)・社会保険未加入対策協議会

(第一合同庁舎) 宇野専務

21日(火)・第1回厚生委員会

23日(木)・第2回理事会・常議委員会

・平成28年度安全大会

(北海道電気会館) 宇野専務他

24日(金)・第1回ボウリング部会

(スガイディノスノルベサ)

28日(火)・当協会事務所移転

札幌市中央区北1東3

北電興業ビル4階

30日(木)・化学物質のリスクアセスメント説明
会(北海道電気会館) 類家事務局長

編集後記

本号の巻頭言は、4月に札幌市都市局長に就任された大場 里樹様にお願いしました。公務多忙な中、大変有り難うございました。

さて、(一社)北海道電業協会第50回並びに(一社)日本電設工業協会北海道支部第60回定時総会が5月11日(水)に開催されました。第6号議案の役員の補欠選任において、佐藤 友昭理事(株)きんでん)、大東 勝広理事(日本電設工業(株))、宇野徹専務理事((一社)北海道電業協会)が選ばれました。よろしく申し上げます。

退任されました小川 孝樹前専務理事には6年間、大変お世話になり有り難うございました。

また、本広報誌の編集を担当しております広報委員会は委員の若干の入替はありますが、委員長、副委員長、委員ほぼ同じメンバーで進めさせてもらいます。協会の活動に触れる機会の少ない会員の方もいらっしゃると思います。皆さまに、協会の活動全般を少しでもわかりやすく、少しでもお役に立てる情報になるよう、編集作業を行いますので、よろしく申し上げます。

(萩本広報委員長)



発行 平成28年7月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp